

第1回第5次総合計画策定全体ミーティング会議内容骨子

開催日時：平成29年5月24日（水） 18：30～21：00

会場：市役所8階大ホール

主な内容：

(1) 第5次茅野市総合計画について

総合計画の構成、計画の特徴や市民プランとのつながり、策定スケジュールについて説明
<ポイント>

- ・現在は、市民プランと分野別計画が別々にあり、屋上屋を重ねているため、第5次総合計画の中に分野別計画を位置づけ、無駄のない計画を作る。
- ・分野別計画の策定を通して、重複している計画は整理統合し、カバーしきれていない分野があれば、あらたに計画を位置付け、全体として計画体系づくりを行う。

(2) 茅野市を取り巻く時代の流れとこれからのまちづくりの課題について

人口減少・少子高齢化、変化する社会・経済への対応、技術革新、ネットワークの広がり、環境意識の高まり、防災意識の高まりの6項目で整理した現状と課題や対応方針（案）等に対する意見交換

<主なご意見>

国のコンパクトシティ政策、観光やグローバル化への取組強化、産業振興などにおける他市との連携強化、高齢者の社会参加や雇用活用を促すしくみの構築、外国人住民への取組、社会保障制度や収入の分配の見直し、環境分野での取組などに対する意見が出された。

出されたご意見については、今後の分野別計画の策定の中で、検討していくこととなった。

(3) 第5次茅野市総合計画体系(案)について

都市将来像を頂点として、まちづくりの基本指針、政策としての基本政策・政策横断プロジェクト、各政策において分野別計画をカートリッジのようにはめ込む体系（案）を説明

<主なご意見等>

・どんぐりプランや環境基本計画など1つの政策に収まりきらない計画の位置付けや、各政策間の連携を推進していくためには、カートリッジではめ込むといった考え方は難しいのではないか。

⇒体系はあくまで主となる政策に位置付け、これまで以上に政策間や事業間での連携を進めていく

・計画全体の中で、最終的には重みづけ・優先順位づけが必要であり、そのためにもあるべき姿を踏まえての議論が必要ではないか。

⇒将来像を検討し、共有していくとともに、まちづくりの基本指針や進行管理の中で重みづけや優先順位付けの仕組みを検討していく。